

知っておきたい

乳がんと甲状腺がんの 放射線治療



プログラム

乳がんと甲状腺がんの放射線治療について

新潟大学大学院保健学研究科
放射線技術科学分野 教授 笹本 龍太

参加費無料
申込不要
定員30名

放射線治療を受けている方の 日常の過ごし方について

新潟大学医学部保健学科
看護学専攻 助教 田口 めぐみ

●GSHについて

「性尊保健（GSH - Gender Specific / Sensitive Health）」は、女性と男性の抱える健康問題が、身体的な違いだけでなくライフスタイルや生活の場、地域や社会の伝統・慣習・文化などの影響を受けてさまざまに異なることをふまえ、それを念頭においた疾病予防・健康生活の支援を目的とする研究・実践です。

日時

平成29年 **11月11日(土)**
10時30分～12時 (10時開場)

場所

新潟大学 駅南キャンパスときめいと 講義室 B
新潟市中央区笹口1丁目1番地 プラーク1 (2階)

※専用駐車場はございません。公共交通機関または周辺の有料駐車場をご利用ください。



お問合せ

新潟大学大学院保健学研究科 GSH 研究実践センター 担当：吉崎
syusay@clg.niigata-u.ac.jp





性尊保健は

・・・男性と女性の健やかライフのキーワード・・・

「性尊保健」(GSH)は、男女の身体の違いとともにライフスタイルや生活の場、伝統や慣習なども考慮に入れて、心とからだのトータルな健康支援を行い、保健学を推進することを目的とする研究・活動です。

新潟大学大学院保健学研究科は、性尊保健の研究・推進を通じて地域貢献を行うことをめざし「GSH研究実践センター」を設立いたしました。

GSH研究実践センターでは、一般市民の方に向けた保健サービスとして、「女性と男性のこころとからだ・性の相談活動」を実施し、市民公開講座やシンポジウムを開催しています。

また、地元の企業と共同で、性尊を考慮した医療や看護の用品・機器・技術開発研究を展開し、行政や保健センター、市民団体などとも連携して、男性も女性もいきいきと健やかに暮らせる地域づくりをめざしています。

GSH 研究実践センター組織図

